

新生児の命を守る「新生児専用救急車」更新に向け クラウドファンディングを開始

—地域医療の要として、老朽化した車両の早急な更新へご支援を—

READYFOR

キーワードでさがす

Q

プロジェクトをさがす

プロジェクトをはじめる

ログイン・新規登録

寄付金控除型 #静岡県 #社会にいいこと #子ども・教育 #医療・福祉 #寄付金控除型

新たな命を守る1分がここにある。新生児専用救急車の更新にご支援を

 聖隷浜松病院



目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は寄付金を受け取ります（All in 方式）。原則、寄付のキャンセルはできません。寄付募集は11月28日（金）午後11:00までです。

寄付総額

885,000円

目標金額 15,000,000円

5

寄付者 残り
19人 88日

応援コメント

- あおいのお母さん 20分前
娘が利用させていただきました。とても感謝しています。NICUでゴールデンウィーク中にも関わらず、面会するたびにお見か...
- 太田 克巳 54分前
日々ご尽力いただいている医療スタッフの皆さまに敬意を表し、少しでも力になればと思います。
- なかつらう 1時間前
1人でも多くの新生児が救われますように！

プロジェクトの寄付にすむ

♡ 8

プロジェクトの相観をする

聖隷浜松病院では、この度、長年にわたり地域医療を支えてきた新生児専用救急車の老朽化に伴い、新たな車両の導入費用を募るクラウドファンディングを本日より開始することをお知らせいたします。

1,500 万円を目標に、2025 年 9 月 1 日（月）8 時～ 2025 年 11 月 28 日（金）23 時まで寄附を募ります。

（プロジェクト URL：<https://readyfor.jp/projects/seireihamamatsu-NICU2025>）

新生児専用救急車は、早産児や病気を抱えて生まれた新生児の命を救うため、専門の医療機器（保育器、新生児専用人工呼吸器など）を搭載し、新生児科医師と看護師、専門ドライバーが同乗して一刻を争う現場へ出動する特別な車両です。当院では年間約 280 件の新生児搬送に対応しており、静岡県西部地域における総合周産期母子医療センターとして極めて重要な役割を担っています。

現在運用中の救急車は導入から 14 年以上が経過し、走行距離は 15 万 km を超え、エンジン不具合や空調システム故障リスク、医療機器固定装置の劣化など、老朽化が顕著に進んでおります。この車両の稼働停止は、救命できるはずの小さな命が救えなくなるリスクに直結します。

一般の救急車の導入費用は約 2,000 万円ですが、新生児専用救急車は搭載医療機器も含めて約 7,000 万円が必要となります。今回のクラウドファンディングでは、目標金額 1,500 万円を設定し、不足分は病院が負担することで、次世代の救急車導入を目指します。

是非、貴社にて紹介いただければ幸いに存じます。取り上げていただけるようでしたら、

予め前日までに下記連絡先へご一報ください。よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】聖隷浜松病院 学術広報室 太田・北岡 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763

お知らせ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

SEIREI HAMAMATSU GENERAL HOSPITAL

■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル: 新たな命を守る1分がここにある。新生児専用救急車の更新にご支援を
- ・URL: <https://readyfor.jp/projects/seireihamamatsu-NICU2025>
- ・目標金額: 1,500 万円
- ・募集期間: 2025 年 9 月 1 日(月)8 時～ 2025 年 11 月 28 日(金)23 時【88 日間】
- ・資金使途: 新生児専用救急車の購入費用
- ・形式: 寄附金控除型 / All in



※プロジェクトの進捗状況次第では、スケジュールが前後する可能性があります。その場合、活動報告にてご寄附者の皆様にご報告いたします。

※本プロジェクトは、目標金額の達成の有無にかかわらず寄附金を受け取ることができる All In 型です。寄附総額が目標金額に達したか否かにかかわらず、1 円以上の寄附があった場合にクラウドファンディングが達成したものとして取り扱われます。

■聖隷浜松病院 新生児医療の取り組み

当院は 1977 年から総合周産期母子医療センターとして認定を受け、新生児搬送システムを確立し、45 年以上にわたり、地域の新生児医療を支えてきました。静岡県西部地域を担う総合周産期母子医療センターとして、NICU(新生児集中治療室)を 21 床、GCU(新生児回復治療室)を 18 床備え、早産児や生まれつきの病気をもつ赤ちゃん、分娩中に異常が認められた赤ちゃんに対して、24 時間体制で専門的な医療を提供しており、一酸化窒素吸入療法や低体温療法など、先進的な治療も積極的に導入しています。



是非、貴社にて紹介いただければ幸いに存じます。取り上げていただけるようでしたら、

予め前日までに下記連絡先へご一報ください。よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】聖隷浜松病院 学術広報室 太田・北岡 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763